

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

## ◆ホーチミン師範大学にて「日本産業教育講座」開設

ベトナムと日本の企業や大学とのコラボレーションにより、以前から進めておりました「日本産業人の心得」を主軸とした教育講座が具体化されてきました。概要は次の通りです。

- (1) 10月から4月（2月は旧正月のため休み）まで月1回、1回あたり3時間で行う
- (2) 受講生は20名まで
- (3) 受講生にBSO「産業人の心得（ベトナム語版）」を編纂させる
- (4) 受講生のうちの何人かを日本に留学させることも含む

さらにホーチミン師範大学で日本の芸術学部学科を持っている大学とタイアップし、留学を検討していきます。それによってベトナム独特の芸術の継承、アーティスト育成に貢献していきます。

## ●同時進行で次の講座も開設予定です。

## 『品質管理技術実習講座』

- (1) 期間等：12ヶ月、1回/月、6時間/回
- (2) 対象：木材協会傘下企業の品質管理技術者
- (3) 講座の特徴：現場での品質管理実習が中心、BSOカリキュラム使用

## 『産業日本語講座』

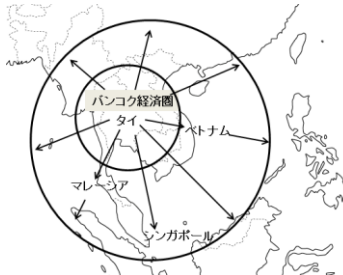
- (1) 期間等：12ヶ月、1回/月、3時間/回
- (2) 対象：ホーチミン師範大学、日本語受講学生
- (3) 講座内容：BSOの「日本産業人の常識」使用

講座を開設することにより生じたコラボレーションから、受講生が新たなビジネスマッチングを生んでくれることを期待します。

## ◆バンコク視察から学んだ、「世界の動き」

現在のバンコク市場圏の特徴は、世界の一つ化により桁外れの現象が起こりうる「盤の水」と色々なものが本質的に変わってきている「構造変化」の2点です。東南アジア周辺はバンコクを中心に、タイ経済圏を形成しており、シンガポールやインドなども連動し、またフィリピンやインドネシアのような100年程で広がってきた地域社会とも繋がっています。タイは昔から、華僑やインドのビジネスマンが交流する所として栄え、タイでビジネスを作れば、ベトナム、マレーシア、インドなど近隣諸国へと広がっていきます。今後東南アジアの経済拠点は、ベトナムやタイ周辺が中心となり、TPPなどの決着がつき、周辺諸国との国力が問題にならない時代になれば、新たな構造が誕生しているでしょう。

長期的な視点でベトナムやタイはビジネスの在り方に影響を与え、それが結果的には世界の経済に大きなプラスになっていくだろうと考えられます。世界の一つ化現象の中で動くと、国境がない、そういう社会の在り方に変わってくるのかも知れません。



## ◆ベトナムへの投資事業

ベトナムと日本の企業間で展開するビジネスマッチングは、色々な形態を創造しながら広がり始めています。この一環で、数年に渡りテストマーケティングしているベトナム向けアイスクリームの開発販売をスタートさせることになりました。

その初期投資が50万円程かかります。この投資額をベトナムの金利で1年間出資してくれる人を募集します。

※詳細はBSOまでお問い合わせ下さい。

## ◆ベトナム学生一行来日

来年よりホーチミンの学生対象に、日本で夏期研修を行います。今年は夏期研修のテストとして、ホーチミン師範大学とNEWTATCO（技術研修生派遣事業）が学生を伴い来日しました。今回1週間で大学見学、企業視察、日本観光（東京、広島、神戸、大阪、京都）を行いました。

&lt;電車体験&gt;



&lt;焼肉体験&gt;

## ◆革新時代

1. 普遍的なもの 絶対というものは無いですが、長期的に変化しないもの、本質的なものと言えそうなものなどは、前提にするのが望ましいです。
2. 捨てるもの 周期性があるものもありますが、過去のものとは原則として捨てるか倉庫にしまっておくべきであり、惰性的に存在しているものも然りです。
3. 未知のものが必要だ 逃げるべきでない、逃げたら存在性がなくなる、未知のものへの挑戦は現代人が生きて行くための必須要件です。
4. 脱皮するもの 旧態依然の姿は現代に合いません。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々に知っていただく為に発信しております。（お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで）